

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	パソコン講座 I	授業形態 / 必・選	講義	必修	
		年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	40回(80単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	<<音楽芸能スタッフ科>> 企画制作コース/舞台製作コース/PAコース/照明コース/ローディーコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経験: 28年 デザイン会社で雑誌・パンフレット制作を担当。 DTP(デスクトップパブリッシング)のデザイン制作から広告などの企画提案・制作・ディレクション業務に至る一連の業務に従事。				
授業概要					
通常業務でよく使用されている「Word」「Excel」「Illustrator」についての解説、操作実習。 フライヤー・WEBプロモーション時における情報管理の徹底、SNSの取り扱いについて					
到達目標					
音楽業界で必要とさせる「Word」「Excel」「Illustrator」の3つのソフトの基本的な操作方法。 就職してからすぐに役立つ技術の修得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～2回目	social networking service、ネットリテラシー等 ・イベント開催時におけるSNS利用の効果と注意点 ・情報管理(コンプライアンス)について、守秘義務の重要性
【前期】 3～8回目	Microsoft Excel ・Excelの基本操作 ・タイムテーブル
【前期】 9～14回目	Microsoft Excel ・簡単な計算 ・予算書 ・スケジュール管理
【前期】 15～20回目	Microsoft Word ・Wordの基本操作・文字の入力 ・応用課題
【後期】 1～4回目	Adobe Illustrator ・簡単な名刺作成
【後期】 5～8回目	Adobe Illustrator ・地図の作成
【後期】 9～12回目	Adobe Illustrator ・フライヤー製作
【後期】 13～16回目	Adobe Illustrator ・簡易的な図面
【後期】 17～20回目	Adobe Illustrator ・デザインの基礎
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	エンターテインメント業界で、必要とさせるパソコンスキル 基礎から学び就職してからすぐに役立つ技術の習得 苦手意識持たずにTRYしていきましょう。
使用教科書	学園MAC使用

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	製作基礎実習	授業形態 / 必・選	実習	必修
		年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分) 年間授業数	42回(84単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ 舞台製作コース			
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>			
担当講師 実務経歴	実務経験:38年 大道具会社を経て 現在国内アーティストのドームツアーを手掛けている大道具スタッフ			
授業概要				
コンサート・ライブの舞台美術の製作の基本を重点に多くの事を学んでいきます。				
到達目標				
コンサート・ライブ・イベントにおける製作物の設計・製作を目指す				

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	基本工具の解説(単純な工具の扱い方・コツ) ナグリ・ノコ・パール・メジャー・差し金・カッター
【前期】 11～20回目	大道具で使う材料(木材・金物・釘・ビス)の説明 サイズ毎に意味のある資材を選択する理由
【前期】 21～30回目	道具を使って大道具の作成 単純な工具に触れて、様々な物を作ってみる。
【前期】 31～40回目	電動工具の解説 電動工具の扱い方と、その工具を選択する理由。
【後期】 1～8回目	電動工具を使って大道具を作成 より正確で、美しい仕上がりを目指す。
【後期】 9～16回目	平台と箱馬の解説 平台・箱馬の、目的による入れ方の違いを説明。
【後期】 17～24回目	パネルの解説 パネルの製法と、組み方のアレンジ
【後期】 25～32回目	吊り物の解説 ロープ・ワイヤー・スリング等、 各々の吊り方やアレンジ
【後期】 33～42回目	企画ライブにおける美術プラン設計・製作
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	制作作業は、細部にわたる調整・運営作業がチームの絆を生み出します。 より良い舞台スタッフをまとめる事が重要です。
使用教科書	オリジナルPDFテキスト

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	音楽業界基礎講座	授業形態 / 必・選	講義	必修	
		年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	40回(80単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	<<音楽芸能スタッフ科>> 企画制作コース/舞台製作コース/PAコース/照明コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験:25年。 ポストプロダクションにてアシスタントオペレーターを経験後、プロダクションや音楽出版社にてマネジメント、ファンクラブ、宣伝、営業、デスク、経理と様々な業務に従事。メジャーからインディーズ・シーンまで、幅広い人脈を活かして活動中。				
授業概要					
エンターテインメント業界を目指すためのノウハウを学ぶ。 社会人としてのマナー講座・キャリアトレーニング。					
到達目標					
秘書検定取得を目指す。					

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	エンターテインメント業界の構図 芸能業界の全体像 プロダクションの業務内容
【前期】 6～10回目	レコード会社の業務内容 著作権について
【前期】 11～15回目	音楽出版社の業務内容 放送局/出版社/Webメディア TV・ラジオの業務内容
【前期】 16～20回目	ポストプロダクション 映像制作会社/編集スタジオ/MAスタジオ/音プロ RECスタジオ/マスタリングスタジオ/リハーサルスタジオ
【後期】 1～4回目	キャリアトレーニング授業概要 必要とされる資質 心構え・条件
【後期】 5～8回目	職務知識 役割・機能・職務 一般知識 企業の基礎知識・企業の組織と活動・社会常識
【後期】 9～12回目	マナー・接遇 人間関係と話し方・聞き方の応用 マナー・接遇 電話の応対・交際
【後期】 13～16回目	技能 ・会議と秘書 ・ビジネス文書と秘書 ・文書管理/資料管理/日程管理 ・オフィス管理
【後期】 17～20回目	秘書検定試験対策 ビジネスマナー 必要とされる資質・企業実務/対人関係・技能
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	「音楽業界のルール」、そして「一般社会のルール」 専門知識以外知らなくては、いけない事が多いです。 良い大人になる為頑張りましょう!
使用教科書	秘書検定テキスト

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	一般教養講座	授業形態 / 必・選	講義	必修	
		年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	40回(80単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ 企画制作コース/舞台製作コース/PAコース/照明コース/ライブハウスコース ローディーコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input type="checkbox"/> 非該当 <input checked="" type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	/				
授業概要					
「コミュニケーション能力」「状況判断能力」「説明能力」の3点をテーマとした講義。					
到達目標					
社会人としての基礎的スキルの習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	グループワークの基本 状況説明 ・地図、図形、絵の言語化 ・話の整理、要約
【前期】 6～10回目	文章講座 ・「話し言葉」と「書き言葉」 ・日本語の基本構文、5W1H
【前期】 11～15回目	ビジネス文書 ・ビジネスメール ・社内文書
【前期】 16～20回目	ビジネス文書 ・社外文書 ・社交文書
【後期】 1～4回目	コミュニケーション ・概論 ・非言語コミュニケーション ・言語コミュニケーション ・説得的コミュニケーション
【後期】 5～8回目	敬語 ・敬語の種類 ・尊敬語の使い方 ・謙譲語の使い方
【後期】 9～12回目	敬語 ・実践 間違いやすい敬語、仕事でよく使われる敬語
【後期】 13～16回目	心理学講座 ・人の錯覚、思い込み ・自分を知る(心理テスト) ・他者からの影響、社会からの影響 ・自分の長所、他者との関わり方
【後期】 17～20回目	就活に向けて ・音楽に関わる仕事、自分に向いている仕事 ・情報収集について ・履歴書を書く
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	社会に出てから必要とさせるビジネスマナー 恥ずかしくない人間構築を目指しましょう！
使用教科書	随時テキスト配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	舞台制作実習 I-A	授業形態 / 必・選	実習	必修
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	84回(168単位時間)	年間単位数 5単位
科目設置学科コース	<<音楽芸能スタッフ科>> 舞台製作コース			
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>			
担当講師 実務経歴	実務経験:10年 大道具会社～舞台監督経験を経て、フェスやイベントの舞台進行に従事。			
授業概要				
大道具作業教室にて工具を使用して製作物の技術力を高める。 MACを使用してタイムテーブルの作成				
到達目標				
舞台監督／大道具／舞台スタッフとしての基本の習得。				

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	舞台用語の基礎 ・下手～上手 ・ステージ奥～手前、袖、裏導線
【前期】 11～20回目	舞台用語の基礎 ・框、大迫・小迫、スライディングステージ、オーケストラピット ・袖幕、文字幕、東西幕、緞帳
【前期】 21～30回目	尺貫法／経済寸法 ・寸・尺・間 サイズ ・平台、箱馬のサイズ
【前期】 31～40回目	山台組の基礎 ・箱馬を互い違いにして組む方法 ・ケコミ幕、ケコミ板
【後期】 1～8回目	舞台監督／進行／ライブの一日の流れ タイムテーブルの作り方
【後期】 9～16回目	立ち位置／バミリ／導線／ケーブル養生
【後期】 17～24回目	工具の使い方
【後期】 25～32回目	簡単な製作物
【後期】 33～44回目	ライブイベントのセットの製作
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	スタッフとして相応しい格好(スニーカー・黒ズボン・黒Tシャツ/トレーナー) 必要工具(LEDライト・ビニールテープ・マジック類)クリップボード持参
使用教科書	オリジナルPDFテキスト

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	舞台制作実習 I-B	授業形態 / 必・選	実習	必修	
		年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	82回(164単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	<<音楽芸能スタッフ科>> 舞台製作コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経験:37年 大道具会社～舞台監督会社を経て、現在海外アーティストを含む数多くのアーティストの全国ツアーを手掛けている舞台監督。				
授業概要					
舞台業界標準となっている図面アプリケーション「VectorWorks」を使用し、図面の基本・基礎を学ぶ。					
到達目標					
舞台図面の作成技術の向上・各図面から細部にわたる情報の読み取り方の取得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	ツールの用途・使用 舞台図面(読み方・書き方)
【前期】 11～20回目	舞台図面(平面図・読み方・書き方) テーマを元に舞台平面図を作成
【前期】 21～30回目	舞台図面(側面図・読み方・書き方) 舞台図面(正面図・読み方・書き方)
【前期】 31～40回目	テーマを元に舞台正面図を作成
【後期】 1～8回目	舞台図面(平面図・正面図・側面図・読み方・書き方) 図面から劇場毎の違いを読み取る
【後期】 9～16回目	テーマを元に複数の劇場毎に図面を落とし込む
【後期】 17～24回目	図面からアリーナ・劇場の違いを読み取る
【後期】 25～32回目	テーマを元に複数の劇場・アリーナ毎に図面を落とし込む
【後期】 33～42回目	学生イベントのプロット作成
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	大道具作製に大切な図面をつくる為ノウハウを早く身に付けましょう。
使用教科書	オリジナルPDFテキスト

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	舞台制作実習 I-C	授業形態 / 必・選	実習	必修	
		年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	82回(164単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	<<音楽芸能スタッフ科>> 舞台製作コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験:37年 大道具会社～舞台監督会社を経て、現在海外アーティストを含む数多くのアーティストの全国ツアーを手掛けている舞台監督。				
授業概要					
学内ホールの舞台躯体を使用し本来のコンサート・ライブ環境で実習 トラスの昇降や吊物の各種取扱い方法について学ぶ。					
到達目標					
ホールを使用しコンサート・ライブ形式の仕込み～進行～撤去と舞台監督、舞台スタッフのノウハウの所得					

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	吊り物 ・基本の吊り方 ・吊り物の仕込み方
【前期】 11～20回目	吊り物 ・ロープ／ワイヤーの基本の結び方
【前期】 21～30回目	トラス関係 ・トラスの組み方 ・ボルトの締め方(ボルト／ワッシャー／ナット／方向)
【前期】 31～40回目	トラス関係 ・トラスのステージ仕込み
【後期】 1～8回目	バトン操作 ・声かけ
【後期】 9～16回目	バトン操作 ・操作実習(学内ホール)
【後期】 17～24回目	ライブ実習使用製作物の仮組み ・学内ホール会場に合わせた仕込み方
【後期】 25～32回目	ライブ実習 ・事前準備、仕込み、進行、撤去(学内ホール)
【後期】 33～42回目	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	スタッフとして相応しい格好(スニーカー・黒ズボン・黒Tシャツ/トレーナー)持参
使用教科書	オリジナルPDFテキスト

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	舞台製作実地演習 I	授業形態 / 必・選	演習	必修
授業時間	180分(1単位時間45分)	年次	1年次	
科目設置学科コース	180分(1単位時間45分)	年間授業数	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	<<音楽芸能スタッフ科>> 舞台製作コース			
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴	各科目担当講師、及び研修先のご担当者様等。			
授業概要				
それぞれのイベント等において接客対応、現場における作業について研修を行う。				
到達目標				
現場における作業、流れ等のノウハウ習得。 イベント等を協力して作り上げることによるコミュニケーション能力の向上。				

授業計画・内容	
1～2回目	学生コンサート・ライブ実習①② 各セクションの作業内容、タイムテーブル、関連性を学ぶ
3～4回目	外部コンサート・ライブスタッフ研修 ①屋内会場 ②屋外会場
5～6回目	学園祭準備①②
7～8回目	学園祭①②
9回目	学園祭片付け、原状回復
評価方法	平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	この演習を通じて、現場における流れや、他社とのコミュニケーションの仕方等確りと学んでください。
使用教科書	当日の役割分担表、業務要項等を配布